

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心不全患者における入院前のフレイル（虚弱）が入院後の予後に与える影響

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 町口 輝（リハビリテーション部・理学療法士）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

心不全で入院となった患者さんを対象に入院前のフレイル（虚弱）が入院後の予後にどのような影響を与えるかを明らかにすることを目的としています。

方法は、診療記録を用いた後ろ向き観察研究です。

研究期間は倫理委員会承認日から2022年3月31日までです。

■ 対象となる患者さん

2016年1月1日～2016年12月31日に当院の循環器科に心不全で入院となり治療を受けた方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、病歴（心不全での入院歴）、心不全の重症度

（NYHA 機能分類）、病態分類（Clinical scenario 分類）、血液検査結果、カヘキシアの有無、フレイル（虚弱）の有無、入院経過（離床状況、在院日数、院内死亡の有無）、退院後経過（3年後の転帰、1年以内の再入院の有無、1年以内の死亡の有無）、日常生活活動能力等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

町口輝（リハビリテーション部・理学療法士）

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971